

講義名	教養特講（シルクロード現代事情）		
科目区分	教養科目		
担当教員	大西 啓司		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 1時限	授業形態	
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

シルクロードという言葉はわが国でもよく知られています。そして、いばしばそれはロマンあふれる古代のイメージと結びついています。一方で、現在、シルクロードをイメージした時、危険な紛争地域というイメージが浮かぶことがあるのではないのでしょうか。シルクロードという一つの言葉によって連想される二つのイメージは、実際にはどのようなつながりを持っているのでしょうか？この授業では、シルクロードの過去と現在の歴史を概観することにより、上記の疑問に答えることを目的とします。

授業内容は、シルクロードの「過去」と「現在」に分けた二部によって構成されます。第一部では、シルクロードの歴史をたどります。まずは、シルクロードという言葉が何を指すのか、その概念がどのように変遷したのかを学びます。次に、シルクロードの歴史をたどることによって、その歴史的位置づけを見ていきます。現在シルクロードで起きていることを正しく理解するには、その過去を知ることが必要です。シルクロードの現代の事情と過去のどの部分が関係し、どの部分が関係しないのか、その理解に努めて下さい。

第二部では、現代のシルクロードについて学んでいきます。20世紀以降、シルクロード沿いの諸国家に於いて何が起こってきたのかを見ていきます。現在でも情勢不安定なこれらの国で今何が起きているのか、どのような経緯で問題が起きているのかを学んでください。

到達目標

シルクロードという言葉が意味する概念を具体的に文章で説明することが出来る。
現代のシルクロードが過去の歴史とどのようにつながっているのかを文章で説明出来る。
シルクロードの現代の状況が如何なるものか理解し、論述出来る。

提出課題

毎回講義の内容に関するコメントシートを提出してもらいます。また、講義の内容に関するレポートを2回程度課します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

講義の中で課したレポートに関しては、講義中に時間を設けて講評します。

評価の基準

コメントシート、講義内レポート等による平常点(40%)と期末試験(60%)により評価します。

履修にあたっての注意・助言他

授業に臨むにあたって、予備知識は特に必要ありません。ただし、講義内で頻出する地名、概念などについてはしっかりと把握しておく必要があります。また、授業中に紹介する参考文献などを読んで、レポート課題、期末試験に臨んで下さい。

教科書
.使用しない。

プリント資料及び参考文献

授業中に随時配布・紹介します。

授業計画

- 1.シルクロードとは何か？
- 2.シルクロードとはどこか？
- 3.シルクロードの再開
- 4.オアシス都市
- 5.オアシス農村社会
- 6.イスラーム教
- 7.イスラーム教
- 8.イスラーム教
- 9.テュルク化とイスラーム化
- 10.テュルク・イスラーム社会
- 11.中国と内陸アジア
- 12.ロシアと内陸アジア
- 13.ソ連と内陸アジア
- 14.現代中央アジアの社会
- 15.まとめ

定期試験

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

各回に指定する内容を予習し（2時間程度）、要点を整理しておいて下さい。また、授業中に配布した資料で復習（2時間程度）し、講義内に登場した地名や概念などについて把握して下さい。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考